

Twitter における意思表示および情報伝播について

○大谷光一 (OTANI Koichi)、

Keywords : Twitter / 情報伝播 / 形態素解析 / 情報接触

1 目的

本研究の目的は

日本において 2008 年にサービスが開始された Twitter は、140 文字のテキストなどを発信することができる SNS である。近年利用者が増え、震災時などには欠かせないツールとなっている。Twitter 上の情報伝播を調べることを目的とし、新型コロナ感染症対策や、政治活動などにおいて、賛否両論が展開されている現状を調査することにより、Twitter 上において情報伝播するのかを調査を行った。

2 方法

本研究の調査・分析方法は

2020 年 12 月に Twitter 上でつぶやかれた「維新」と「コロナ」に関するツイート 894,060 件を収集し、どのような情報が含まれるのか、メンションやリプライの比率などを調査した。合わせて、「コロナ」に関するツイートを 2021 年 1 月から 3 月にかけて継続採取し、時系列的に見て、メンションやリプライに変化がみられるか調査を行った。

3 結果

調査・分析の結果

関心度が高い情報は、関心度の低い情報に比べて、他者の投稿を引用するリツイートの割合が高いと想定したが、調査の結果、「コロナ」と「維新」において明らかな差異は認められなかった。

4 結論

以上により、.

利用者同士の交流を示すリプライやメンションについては、「維新」の方が「コロナ」よりも活発に行われたことが分かった。

【主要参考文献】

.

風間一洋他. Twitter における情報伝播. 人工知能学会誌 2012 年 27 (1)

鳥海不二夫他. 東日本大震災時におけるリツイート分析. 電子情報通信学会技術報告.2012